

○ 北中学校

- ・ 学校関係者評価の結果について
- ・ 三者アンケートのクロス集計（分析）について
- ・ アンケートで出された意見に対する回答について

学校関係者評価について

「学校評価」について

各学校は、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることが求められています。また各学校は、「自己評価」及び保護者など「学校関係者等による評価」の実施とその結果の公表・説明を行い、適切に説明責任を果たし、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることになっております。教師・生徒・保護者による教育活動アンケートは「自己評価」に当たり、その評価結果は「学校関係者による評価」を経て、公表することになっております。

「学校関係者による評価」について

校長が行う学校経営に関し、保護者や地域の方々から幅広く意見を聞き、その意向を学校運営に反映させるための協力を得るために、地域や元PTA役員の方々から学校評議員をお願いし、「学校評議員会」を年3回開催しています。

平成30年2月19日(月)、第3回学校評議員会を開催し、自己評価の結果を報告し様々な意見(学校関係者評価)をいただきました。以下に紹介します。

1 全国体力・運動能力・運動習慣等調査について

生徒の体力の状況を把握・分析することにより、体力の向上に係わる指導の成果と課題を検証し、その改善を図るため、毎年中学2年生を対象に「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」を実施しています。今年度の結果が1月に文部科学省から公表されました。(本校では4・5月の体力テストで全学年実施しています。)この結果から、子どもたちの体力向上のための取組を、学校・家庭・地域が一体となって行う必要性があると考えます。

今年度の結果をみると、「握力、長座体前屈、ハンドボール投げ」の他に「50m走」も男女共全国平均を上回り、校内での比較では、男女共にほぼ全ての種目で昨年度を上回っています。しかし、敏捷性については今後の課題と考えますので、体幹を鍛えると共に敏捷性の向上を、保健体の授業での工夫改善を図りたいと思います。また、持久性についても、日頃の積み重ねが大切だと思いますので、できるだけ徒歩通学による登下校のご協力をお願いしたいと思います。

「体力や運動能力」に自信を持ってない生徒が多いようですが、結果としては好成績です。その反面、「自分もオリンピック選手出場してみたい」と思っている生徒が男女ともに全国・全道の1.5倍であり、「卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」などの生徒が多く見られることから、部活動等のみならず、地域社会との連携を進めていきたいと思っております。

1. 体力に関する調査結果

男子	握力 (kg)	上肢筋力 (kg)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立50m走 (秒)	100m走 (秒)	体力合計点
全国	28.9	27.5	43.2	51.9	86.0	7.99	194.5	20.6	42.1
北海道	29.7	26.9	41.9	50.9	81.8	8.14	194.9	20.5	41.2
北中	30.5	27.5	43.7	49.9	82.9	7.82	195.0	23.4	42.7
女子	握力 (kg)	上肢筋力 (kg)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立50m走 (秒)	100m走 (秒)	体力合計点
全国	23.8	23.7	45.9	46.8	59.1	8.80	168.6	13.0	50.0
北海道	23.6	21.9	44.1	45.3	51.8	9.03	164.1	12.4	46.6
北中	26.3	23.0	49.0	44.4	60.4	8.52	164.9	15.5	53.0

※ ○:全国・全道平均以上 ■:昨年度から大きく上昇 ■:昨年度より下降

2 全国学力学習状況調査について

3学年の生徒を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」は、「義務教育の機会均等と、その水準の維持向上」という観点から、「生まれ育ったところによって学力に大きな差があるということは本来あってはならないことであり、各教育委員会が全国的な状況との関係において自らの教育、及び教育施策の成果と課題を把握し、改善を図り、併せて生徒一人ひとりの学習改善や学習向上につなげることを目的に行われます。

本校3学年の平均結果から今後の改善点を考えると、全国平均と比較して国語A(主として知識に関する)、国語B(主として活用に関する)、数学A(主として知識に関する)、数学B(主として活用に関する)の全てにおいて「相当低い」という結果でした。

大きな課題は「無回答」だと言えます。全国平均を超える無回答問題は、国語Aが32問中19問、国語Bは9問中4問、数学Aが36問中26問、数学Bは15問中13問となっています。1割以上が無回答の問題が国語が10問、数学が27問ありました。「最後まで解答を書こうと努力すること」が北中生には必要だと思います。毎日の授業においても諦めずに考えることを意識することが大切であり、「どうせムリ」「やってもムダ」というもう一人の自分に負けない気持ちを育むことが大切と考えます。

C 全国調査の分析	1. 教科に関する調査結果	
	平成26年度	全国比：国語A+4.8、国語B+3.1、数学A-3.2、数学B-1.3
	平成27年度	全国比：国語A-2.1、国語B-0.5、数学A-5.2、数学B-3.4、理科-3.4
	平成28年度	全国比：国語A+1.5、国語B-0.8、数学A-5.0、数学B-9.1
	平成29年度	全国比：国語A-8.4、国語B-13.2、数学A-10.6、数学B-10.1
	2. 教科及び学習習慣における課題	
	国語	①目的に応じて資料を「読む」 ②自分の考えを「話す」 ③理由がわかるように「書く」
	数学	①公式やきまりの根拠を理解する ②解き方や考え方がわかるようにノートに書く
	質問紙	(1)家庭学習時間が少ない(スマホやゲームの時間が多い)
		(2)自分で計画を立てて学習する
(3)自分の考えを発表する時、話の組み立てなどを工夫して発表している		

【生徒質問紙】

この調査は、家庭での生活習慣や学習習慣を含めた「学習の状況」も調査分析の対象としています。子どもたちの学力水準は、教師の教科指導力や学級経営力とはもとより、宿題や補習、学習規律の確保といった学校と家庭が一体となった取組に左右されます。

また、毎日の学習習慣やテレビの視聴時間、睡眠や朝食の状況なども含めて、家庭における望ましい生活リズムの確立も大きく影響しています。学校だけでは、現代の子どもたちに健やかな成長を保障することは難しくなっています。生徒一人ひとりが自らの夢の実現に向けて笑顔で進み続けられるように、学校・家庭・地域が力を合わせていきたいと考えています。

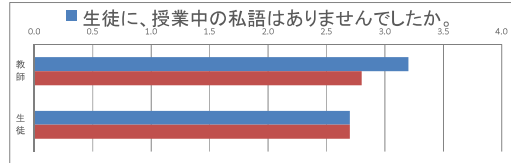
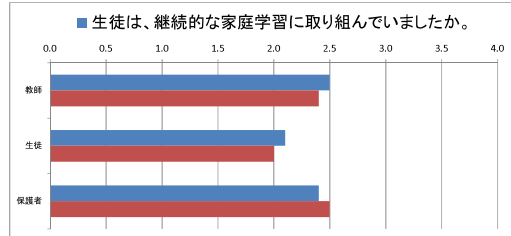
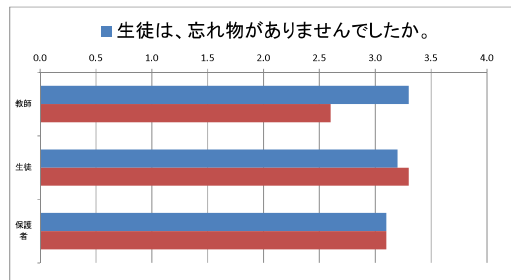
【よいところ】 割合が高く、全国と比較しても高いもの

- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。 73.7%(71.0%)
- 人が困っているときは、進んで助けますか。 87.9%(84.4%)
- 総合の学習で、課題を立て発表する学習活動に取り組んだ。 76.8%(64.3%)
- 1、2年の授業や課外活動で地域を調べたり地域と関わった。 68.7%(53.7%)
- 読書は好きですか。 76.7%(69.9%)
- 数学の勉強は好きですか。 52.5%(55.4%)
- 数学の授業の内容がよくわかりますか。 70.7%(69.4%)
- 数学ができるようになりたいと思いますか。 91.9%(91.6%)
- 学校の部活動に参加していますか。 93.9%(87.8%)
- 普段1日どれくらい部活動をしますか。2時間以上 71.7%(55.6%)

【改善が必要なところ】 割合が低く課題と考えられるもの

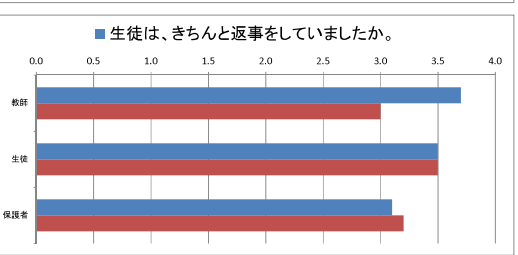
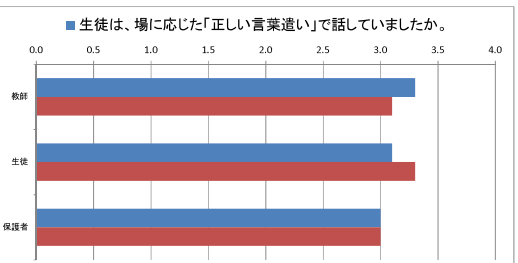
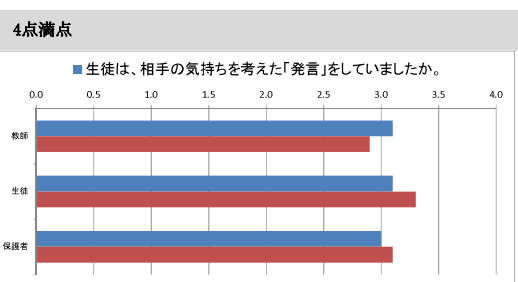
- 自分には良いところがある。 64.7%(70.7%)
- 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。 43.4%(50.5%)
- 友達と話し合うとき、友達の話最後まで聞くことができますか。 89.5%(94.6%)
- 普段1日携帯やスマホでインターネットをしますか。2時間以上 40.4%(32.2%)
- 普段1日テレビゲームをしますか。2時間以上 46.5%(37.6%)
- 普段1日どれくらい勉強をしますか。2時間以上 48.5%(69.6%)
- 土日や休みの日にどれくらい勉強をしますか。2時間以上 27.2%(41.8%)
- 携帯やスマホの使い方について家の人との約束を守っている。 34.3%(50.6%)
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。 34.3%(51.5%)
- 家で、学校の授業の復習をしていますか。 32.3%(50.5%)

項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
授業や家庭学習について	生徒は、授業に真剣に取り組んでいましたか。	H28	3.5	3.1	3.1
		H29	3.1	3.3	3.2
	生徒は、忘れ物がありませんでしたか。	H28	3.3	3.2	3.1
		H29	2.6	3.3	3.1
	生徒は、授業中の約束を守っていましたか。	H28	3.5	3.2	
		H29	3.2	3.5	
	教材研究し、わかる、できる、楽しい授業づくりが行われましたか。	H28	3.0	3.0	2.6
		H29	3.0	3.2	2.6
	生徒は、継続的な家庭学習に取り組んでいましたか。	H28	2.5	2.1	2.4
		H29	2.4	2.0	2.5
生徒に、授業中の私語はありませんでしたか。	H28	3.2	2.7		
	H29	2.8	2.7		
生徒は、授業中、自分の考えを発表していましたか。	H28	3.4	2.6	2.2	
	H29	3.1	2.7	2.3	
生徒は、授業中、友達や先生の話をしっかり聞いていましたか。	H28	3.3	3.3	2.9	
	H29	3.0	3.5	2.9	
生徒は、授業中、ノートをしっかり取っていましたか。	H28	3.8	3.7	3.4	
	H29	3.4	3.8	3.4	
生徒は、忘れないで宿題に取り組んでいましたか。	H28	3.2	3.1	3.2	
	H29	2.9	3.5	3.2	



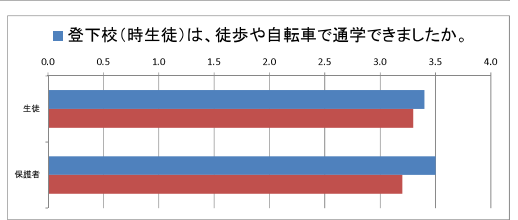
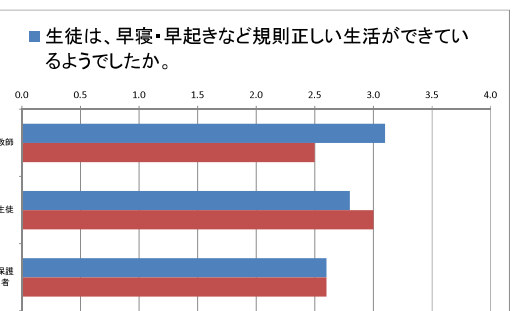
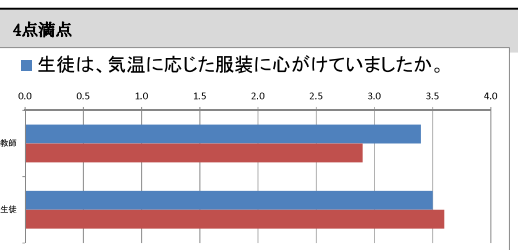
1. 「継続的な家庭学習の取り組み」は、三者ともに低い数値となっています。これは昨年度に引き続き同様の結果であり、次年度に向けた最大の「課題」であると考えます。家庭学習の手引きの配布と活用を図りましたが、大きな改善には至っていません。ノートの取り方(自分用ノートの作り方)なども含め、家庭学習の指導などを強化していきます。その他に「授業中の私語」も改善の余地が残ります。発表の場を設定する授業を大切にし、学習規律を中心に据えて指導を進めたいと思います。

項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
学校生活や友人関係について	生徒は、相手の気持ちを考えた「行動」をとっていましたか。	H28	3.3	3.1	3.2
		H29	3.1	3.4	3.3
	生徒は、相手の気持ちを考えた「発言」をしていましたか。	H28	3.1	3.1	3.0
		H29	2.9	3.3	3.1
	生徒は、「思いやりの心」が育っていますか。	H28	3.6	3.2	3.2
		H29	3.1	3.4	3.3
	生徒は、場に応じた「正しい言葉遣い」で話していましたか。	H28	3.3	3.1	3.0
		H29	3.1	3.3	3.0
	生徒は、気持ちのよい「挨拶」をしていましたか。	H28	3.4	3.4	3.1
		H29	3.2	3.5	3.2
	生徒は、きちんと返事をしていましたか。	H28	3.7	3.5	3.1
		H29	3.0	3.5	3.2
生徒は、先輩や先生に対する礼儀ができましたか。	H28	3.6	3.5	3.2	
	H29	3.0	3.6	3.3	
生徒は、友達と「協力」して仕事に取り組んでいましたか。	H28	3.6	3.4	3.3	
	H29	3.3	3.6	3.3	
生徒は、学校の規則を守っていましたか。	H28	3.6	3.3	3.4	
	H29	3.3	3.5	3.5	
生徒は、給食や清掃などの当番活動に真面目に取り組んでいましたか。	H28	3.8	3.4		
	H29	3.4	3.6		
「いじめ」に対し、組織的な取り組みとして対応していましたか。	H28	3.5	3.1	3.1	
	H29	3.2	3.3	3.2	



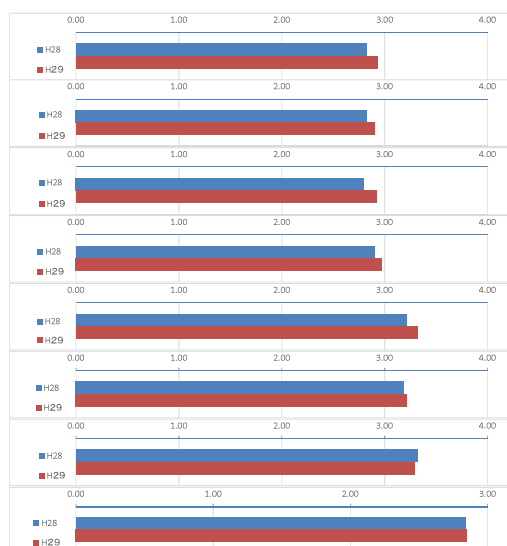
1. 教師の評価が全体的に低くなっています。昨年度からの課題であった「相手の気持ちを考えた発言」や「正しい言葉遣い」それに「いじめへの対応」などは、いずれも生徒内の評価は好評価へと変容してきました。今後も、「相手に伝えることを意識した言動」を大切にする指導を継続していきます。

項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
健康や身体について	生徒は、給食を好き嫌いせず食べていましたか。	H28	3.0	3.1	
		H29	3.0	3.3	
	生徒は、健康を考えた食生活を心がけていましたか。	H28	3.0	3.0	2.6
		H29	2.6	3.2	2.7
	生徒は、体を動かして体力向上に努めていましたか。	H28	3.6	3.2	3.1
		H29	3.2	3.5	3.2
	生徒は、早寝・早起きなど規則正しい生活ができていたようでしたか。	H28	3.1	2.8	2.6
		H29	2.5	3.0	2.6
	生徒は、気温に応じた服装に心がけていましたか。	H28	3.4	3.5	
		H29	2.9	3.6	
	生徒は、風邪やインフルエンザの予防に努めていましたか。	H28	2.5	3.2	2.7
		H29	3.1	3.3	2.6
生徒は、安全な学校生活に心がけていましたか。	H28	3.1	3.5	3.0	
	H29	3.1	3.6	3.2	
(生徒は、)朝ごはんは食べていますか。	H28		3.5	3.5	
	H29		3.5	3.6	
登下校(時生徒)は、徒歩や自転車で通学できましたか。	H28		3.4	3.5	
	H29		3.3	3.2	
生徒は、携帯電話やスマホの利用についてルールを決めているようでしたか。	決めている	H28	46	72	%
	H29	54	68	%	
持っていない	H28	28	33	%	
	H29	22	27	%	



1. 「早寝早起きなどの規則正しい生活」は連続して改善傾向にあるものの、登校後や保健室の利用をみると、学校としてはまだ課題が残っていると考えています。家庭学習の習慣と同様、今後の習慣作りへのご家庭での指導・ご協力をお願いするものであります。また、携帯電話やスマートフォンの所持率が増加傾向にありますが、利用については慎重を期さなければなりません。トラブルの大きな原因の一つになっていきますことから、今後もPTAとも連携を図りながら全校での取組を進めていきたいと考えています。

項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
開かれた学校について	学校は、家庭との連携がとれていると思いますか。	H28			2.82
		H29			2.93
	学校の取組みは、家庭には伝わっていますか。	H28			2.83
		H29			2.90
	学校での生徒の活動は、家庭には伝わっていますか。	H28			2.80
		H29			2.92
	学校は、生徒の諸問題に適切に対処していると思いますか。	H28			2.90
		H29			2.97
	お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか。	H28			3.21
		H29			3.32
学校便りには、目を通していただいていますか。	H28			3.19	
	H29			3.22	
学級通信には、目を通していただいていますか。	H28			3.32	
	H29			3.29	
お子さんに関する相談を、学校にできましたか。	H28			2.84	
	H29			2.85	



1. 「家庭との連携」や「学校の取組や生徒の活動の様子の情報伝達」の評価も徐々にあがってきましたが、学校としては、学校便りや学級通信を通し生徒や教育活動状況を提供するとともに、参観日などでの懇談会や個別の面談、PTA交流会等を通して情報交換や連携を深めていきたいと考えています。何かあったときには家庭と連絡を取り、報告をさせていただきます。各ご家庭でも、不明な点、心配事、相談事項がありましたら遠慮なく申し出ただけであれば幸いです。

3 その他

- (1) 平成30年度の新入生徒数は何人か。増えているのか。
 - 79名の予定である。このままだと、2年生になる際、2学級となる。平成30年度は全体として20名程度の減となり、今後も全般的に減少傾向にある。
- (2) 今年度の卒業生106名は全員進学するのか。
 - 全員進学予定である。
- (3) 不登校傾向の生徒の進路はどうか。
 - 進学を希望している。担任が本人や保護者とも話し合いを行い、進路事務を進めてきた
- (4) 保護者による登下校の送迎はあるか。
 - 少しずつ増えている。PTAとしても、体力向上からも徒歩通学を呼びかけている。
- (5) 車での登下校の送迎は、教科書等の学習用具が重いからではないか。教科書は学期毎のものになると、重さは軽減されるのではないか。また、部活動や塾など多忙で、疲れているからではないか。
 - 教科書や副教材については、家庭学習のために基本的に持ち帰りとなるが、芸能教科については置いていって良いものを指導している。
- (6) 通信(たより)を見ていない人がいる。我が子への関心が薄いのではないか。
 - 共働きの家庭が増えていることもあり、関心が薄れているというよりは余暇の時間が少なくなっていると考えられる。通信は様子を伝えるうえでも継続して出していきたい。
- (7) ICT機器など子どものためによかれと思っていることが、ビジネスにつかわれていることもあり、子どもの成長のためとは言えないこともある。
 - 正しい使い方の指導をし、子供たちに考えさせる指導を継続的にすることしかできない。
- (8) 生徒と先生の評価に違いがあり、先生方が低く感じる。
 - 生徒が落ち着き、先生方の意識が高まったからではないか。

保護者アンケートで出された意見に対する回答

文責：校長 菊池 浩徳

教育活動アンケートにおきまして、たくさんのご意見をいただきました。寄せられましたご意見につきましてはしっかりと検証し、次年度に向けて可能なものから迅速に改善していきたいと思っております。

今回のアンケートでいただいた意見に対し、年度末反省の中で改善策等を協議しました。共有が必要なご意見を中心に回答させていただきますが、新年度計画に活かすと共に、新年度の学年活動等の中で保護者の皆さんにご説明をして参りますので、ご理解をいただきたいと思います。

なお、ご不明な点等がありましたら、学校まで連絡いただければと思います。

1. 学習に関する意見

①我が子は、今のところ部活動が楽しくて、勉強の方が二の次になっている様な…。何かに熱中出来るのは良いことだと嬉しい反面、テストの結果に呆然とする状況です。あと、顧問の先生に、休日もお世話になり本当に感謝ですが、負担が大きくなりすぎない様…どうぞよろしくお願い致します。

②中間テストや期末テストの計画表はとてもよいと思っております。

③子どものペースに合わせてくれて、大変感謝しています。遅れている分の勉強、学力等、不安はありますが、楽しく通学できればと思っています。

*1年生の時は部活動が楽しいと感じる一方、体力がないので必死について行ってるということがよくあります。進級する頃には体力が付いているはずなので、一番大事な2年生の学習に向け、今の時期に自分の学習リズムを作ることが大切です。テスト前に考えた計画表を活用して取り組ませ、週末に1週間の取組の反省を聞いてあげて下さい。その時に、「5点満点の何点?」「時間が足りなかったの?内容が出来なかったの?」と声をかけ、子どもの振り返りを促して下さい。3日坊主を2日しか続かないと考えるか、3日のうち2日は努力しており、3日目に続けられなかった時に、新たな目標・計画を立て直し、再び努力を始めると考えるかによって、大きな違いが出てきます。一番やってはいけないことは“**無計画**”であることを家庭でも意識させて欲しいと思っております。

また、小学校のように、一つの単元を何時間もかけて学習し、単元が終わると平均点が80点～90点のテストがあり、その後はまとめのテストまで学習内容を振り返る時間が少ないという学習とは違います。中学校は予習・授業・復習・家庭学習・小テスト・単元テスト・定期テスト・学力テストと学習が継続していきます。

④プリントを出さないため、目をとおすことができません、勉強会や部活と言って遊びに行くことも増えて、テストの点数が下がる一方です。

*中学生になると提出物を保護者に出さない生徒が多くなります。プリントは保護者へのお知らせであることを学校でも繰り返し伝えますが、保護者の皆さんも「知らなくて困った。」「恥ずかしい思いをした。」という私メッセージを出し続けてください。保護者同士のつながりをつくり、情報を収集することも大切です。子どもにとっては、保護者同士がつながることが一番効果的と言えます。

⑤水泳、柔道、スキー、年に数回しかやらない授業は、準備金にお金がかかるので、今後なくしてほしいと強く思っています。

*学習指導要領で、1学年及び2学年で「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」、「ダンス」及び知識に関する領域を全て履修し、3学年では「体づくり運動」及び知識に関する領域と選択で「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「ダンス」のまとまりと「球技」、「武道」のまとまりからそれぞれ選択して履修することになっています。体育の授業時数が減っていることもありますが、生徒同士や家族とスキーに行く機会が減っているため増えるといいと思っています。

⑥ 1つの教科に2人の先生がクラスによって違いますよね。A先生に習っているのに、B先生のテストを受けるとわからないところがありますよね。これは、やっぱりいやですね。よくある質問で答えてくれますが、ご理解を…と書いてます。自分が子供ならテスト出来るかなと不安です。悪ければ親に怒られるし…やっぱり考えてほしいですね。

* 学級数や教職員数は公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律に基づいて決められており、5教科は所有免許教科以外を教えられないことになっています。また、以前のように選択教科がなくなったため、各学年に5教科の先生が必ずいるような体制をとれなくなっています。このようなことから、学校に教科担任が2人しかいないということが当たり前になり、学校によっては不安の解消のために全学年を分けて担当させる学校もあります。指導すべき内容は学習指導要領で決まっているので、本校としてはそのような不安を受けないように指導をし、補充学習などの対応も進めていきたいと思います。

2. 生活に関する意見

① 幼稚園や小学校とは違うのだろーと思いますが、学校で何かあった時は必要に応じて先生から家庭へ連絡を頂けたら…と思います。(相手があることなら特に) 中学生にもなれば子どもから家で話し伝えることも出来るとは思いますが、面倒だったりよくない内容だと自己判断で知らせてくれない場合があります。親が何も知らずにいて、相手に失礼をしてしまうおそれがあります。

* 連絡が不十分なことがあったようですね。お詫びいたします。本人の失敗においては状況により家庭連絡をしないことがあります。他の生徒に関わっての問題等については、ご指摘の通り親が知らずに相手に失礼をしてしまうことがあることから、家庭に連絡することが基本となります。中学校では、自分で考え、判断し、保護者や先生と相談しながら解決できる力を育てますが、保護者への連絡は、取るようにしていきます。

② クラスの学級通信が少なすぎ、子供たちの様子がわかりません。もっと、様子がわかる様な物が欲しいと思います。

③ いじめに繋がる状況になっているとき、生徒への声かけを細やかにして欲しい。

④ 子どもも思春期の難しい時期に大変だと思うが、先生も先生らしい言動を心がけて欲しいです。あばれるのはどうかと…。

* 通信については学級ごとに出しておりますが、少ないと感じられていたのですね。お子さんの様子が分からず不安を与えましたことをお詫びいたします。小学校のように毎週時間割と併せて出される通信とは違うことはご理解いただきたいと思います。また、生徒指導に関わる声かけについても気をつけ、いじめ等を予防する取組を進めて行きたいと思います。次年度は気になることがありましたらその都度担任、教頭まで連絡をいただきたいと思います。

⑤ 通学カバンの中身が重すぎる。駐輪スペースをどこかに取り、全員自転車通学を許可してほしい。

* 以前もカバンのことは問題となりましたが、機能面や耐久性、教室での置き場所などを考えると今の通学カバンが適当であると考えられます。全ての条件を満たせるものはなく、何を優先するかということになります。

* 体力向上の上でも歩くことは必要と思います。駐輪スペースの確保については難しい状態です。自転車通学を全員に許可をして欲しいという理由について教えていただければ、土日の部活動の自転車使用許可のように対応策を考えられると思います。

3. 部活動に関する意見

- ①部活動の終了時間を厳守するよう学校の方から各顧問の先生に徹底していただきたいです。熱心なのは有難いことですが、時間は守っていただきたいです。帰宅が遅くなる分、家庭での学習時間が少なくなり、学力の低下に繋がるのではないかと不安です。
- ②部活動での指導について、熱心さが足りない。
- ③土日の部活動が少し多く、家族の時間がなかなかない。
- ④ある部活だけ、休みなく長い時間練習する事は子供にとってもストレスになる為、考えてほしい。
- ⑤陸上部の土日の練習を北見の競技場で行うのは納得がいきません。当初は大会の前だけでしたが、段々と多くなり、ほぼ毎週のようになっていました。部活動なのに車で行かなければいけないところで行うのは違うと思います。
- ⑥部活で困ったことがあって相談しても聞いてもらえない。又は、軽い返事で終わる。スマホで、SNS など、悪口の書き込みが多いと思います。
- ⑦部活動などでの上下関係、挨拶を指導してほしい。
- ⑧部活動について疑問に思うところがあります。子供から聞くところによると、放課後、休日の部活、どちらも顧問の先生は学校内にいるものの、部活動の場にはほとんどいないとの事です。しかし、大会前の大事な時でも「顧問が不在のため休み」という事がよくあります。普段から、ケガなど何かあったときのために学校内にはいる、というような状況であれば、顧問が不在でも同じ時間帯で活動している他の部の顧問だったり、代わりの先生だったり何かあった時に声をかけられる大人がいれば部活を行うことができるのではないのでしょうか？ 練習したい！という子供たちのやる気を大事にしてほしいです。
- ⑨中体連ですが、3年生がベンチにも入れず、出れなかった部活動あったと聞きました。ベンチに入れる人数が限られているかもしれませんが、そんなに勝ち負けの方が大事でしょうか？ どうして、3年間がんばってきたことを評価してあげられないのですか？ 中体連は3年間がんばってきた最後の場所です。2年生の方がうまいかもしれません。でも、ベンチにも入れず引退させるのはどうかと思いました。勝ち負けより、がんばった生徒を評価してあげてください。北中では部活動をどのように考えているのでしょうか。

*部活動の練習時間は5月から9月中までは18：30まで、9月中から4月までは18：00が活動を終了し、下校する時刻となっております。以前、部活動終了後もダラダラと残っているため、帰宅時刻が遅くなるということがあり、各部が終了時刻を守ると共に、終了後は素早く下校させることにしています。

また、土日は4時間の練習を基本とし、週に1回は必ず休養日を取るようになっていました。勤務時間の縮減もあり、今後は土・日のいずれかと平日の1日を休みとする方向で進められています。ほとんどが6時間授業のため、以前より活動時間は短くなっていますが、限られた時間内で活動を進めますので、ご理解いただきたいと思います。

顧問については事故等の防止の点から複数体制をとって活動しておりますが、部活動数が多く、専門的に指導できる先生が全ての部にいるわけではありませんので、完全に複数体制は取れていません。また、教育課程外の活動ということもあり、顧問をお願いして活動している状態です。

⑤については、陸上競技は様々な大会が各週くらいで開催されることから頻度が多く感じられるかと思います。正式な会場で他校生と切磋琢磨して練習したい生徒もいることから大変難しい問題です。お子様ともしっかりと相談していただき、本人と保護者からまずは顧問へ相談していただければ、何らかの対応ができるかと思いますので、ご協力をお願いします。

⑧と⑨については、実際の状況がよく分かりませんので、何かの機会に顧問・教頭までお話しいただければと思います。正確な状況を把握した中で、改善を図りたいと思います。

子どもの成長を考え、活動に対して気になる点がありましたら、その都度顧問へお話しいただき、早期に改善をしたいと考えますので、ご協力をお願いします。

4. その他

- ①生徒一人一人をよく見ていてくれると思います、感謝しています。本人の「やる気」を引き出してくれるので（家庭では補えないところを）助かります。
- ②担任の石川先生が熱心で、力になってくれる方なので安心して通わせられます。子どもも先生が大好きなので先生の話しもよく聞くし、友達との仲も深まっています。（クラス仲がいい）ありがとうございます。
- ③日頃熱心に教育活動に取り組んでくださり、安心して学校に通わせていただいております。子どもに配布物（プリント等）が配られたら親に出すよう伝えるも、出してくれていなかったりするため、確認が遅くなったりします。また、多感な時期で、接し方に難しい年代だと思うのですが、子どもが悩みを抱えていたりしても親に心配をかけさせたくなくて表に出せない場合があったりすると思うのですが、中学生という子どもを持つ親として、これからいろいろな（進路や成長など）場面がでてくると思うのですが、どのように対処していったらよいか…。その生徒一人一人違うのと思います…。そういう場面に直面したら、相談に乗っていただけると、心強いです。
- ④先生方の対応を有難く思っております。健康でお仕事されますようにしてください。
- ⑤校長先生の話しが長くて何を伝えたいかわからないと言っています。話しが長ければいいわけじゃないのでは？
- ⑥先生と生徒、先生と親、保護者がもう少し話せる場があるといいと思う。
- ⑦学校での講習会・講演会などは、もっと積極的にアピールして行ったらいいと思う。いい話が聞けるのにもったいない。

* 4月に赴任してから、北中学校の先生方は本当に前向きに頑張っていると感じております。職員室でも生徒の変化などを話題にしていることが多く、朝、休み時間、そして放課後と、生徒との時間をつくろうとしています。

宿題や家庭学習が多すぎるのではという声もありますが、平日2時間以上テレビ等を見ている生徒が49.5%、テレビゲーム等をしている生徒が46.5%、メールやインターネットをしている生徒が40.4%となっています。そして、平日に2時間以上勉強している生徒が20.2%で、1時間以上の生徒で48.5%となっており、全国平均では1時間以上が69.6%となっています。休みの日に2時間以上勉強している生徒が27.2%で、1時間以上の生徒で53.5%となっており、全国平均では1時間以上が69.4%となっています。自分で計画を立て、計画通りに進めようという気持ちが育っていないことが課題とおさえて、家庭学習の時間を習慣づける取り組みを進めています。疑問な点等がありましたら、教頭まで連絡をお願いします。

私の話が長いという指摘がありました。生徒の課題の一つである聴く力を付けるために、その時点で生徒に考えさせること、各学年や部活動に関わることなどについて、例を示しながら分けて話をする時は長くなることもあります。生徒の反応を観ながら話はしていますが、次年度は長いと感じさせないようにしたいと思います。どんな話だったのかを聞いていただくと本人の学びにつながることもなるかと思えます。

学校での講習会・講演会などは、もっと積極的にアピールしていきたいと思えます。特に次年度は中部地区PTA母親研修会が北中学校主管で開催されますので、多くの人に参加していただきたいと思えます。